

西宮市 幼児教育・ 保育ビジョン



令和4(2022)年3月
西宮市

はじめに

このビジョンは、西宮市内で幼児教育・保育に関わるすべての保育者や保護者の方々などに向けて作成したものです。

乳幼児期は、子どもにとって、生涯を通じて生きる力の基礎となる「根っこ」としての内面の力を育てていくうえで、とても大切な時期であり、幼稚園・保育所・認定こども園などの施設種別や公立・私立などの設置主体にかかわらず、質の高い幼児教育・保育を受けられることが大切です。また、人口減少やAIの発達の影響などから、今後の社会の変化が見通せない時代とも言われている中で、子どもは、その成長に併せて自ら考え行動し、新たなものを創造できる力を身につけていくことが必要です。その基礎は、乳幼児期の環境を通した教育・保育の中で育まれることから、その重要性は一層高まっています。

平成29年（2017年）3月に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂され、小学校就学時の共通の目標像として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確に位置付けられましたが、要領や指針等の解釈や保育内容の展開については、それぞれの施設に委ねられています。

そこで、それぞれの施設の理念と特色は尊重しつつ、西宮市内で行われる幼児教育・保育で大切にしたいことを明確化したうえで共有し、質の高い幼児教育・保育のために必要な取り組みを示そうと、学識経験者、市内の公私幼稚園と保育所それぞれの代表者と小学校関係者などで構成するワーキングチームを設置して、このビジョンをまとめる検討と協議を重ねてきました。

このビジョンをもとに、幼稚園・保育所・認定こども園などの施設種別や公立・私立などの設置主体にかかわらず、西宮市のすべての施設で「子ども中心の幼児教育・保育」が行われるよう、取り組んでまいります。

